



遊びから運動会種目へとルールを考える子

園長 太田 伸男

10月2日(土)には、荻川地区コミュニティーセンター体育館をお借りして、市之瀬幼稚園の運動会を行います。園児数の減少や新型コロナウイルス感染防止を考慮して、運動会の団体種目に「リレー」と「段ボール積み」を加え、3学年合同で行うことになりました。ルールは決まったものを教えるのではなく、遊びを通して出てきた必要感から話し合っ決めてきました。「段ボール積み」のルールができていく過程を紹介します。

- ① 形も大きさもバラバラな段ボール箱をいくつも用意しておくで、子どもたちが積み上げて遊び始めました。年長と年中に、年少も加わりました。(9/1)
- ② 全員が一緒に、段ボール箱を高く積みました。大きな箱を下に積んだり細長いものを縦に積んだりする作戦が出てきました。(9/3)
- ③ 2グループに分かれて遊ぶと、「高さと数を比べる」ようになりました。長い箱を途中で挟む作戦が考え出されました。(9/6)
- ④ 高く積めたチームの段ボール箱の数が、低いチームよりも少ない結果になりました。「箱の数を揃える」ことを決めました。(9/8)
- ⑤ 早く積み終わったチームが、最後の1個で悩んでいる相手を待ちきれませんでした。「積み終わる早さ」がルールになりました。(9/9)
- ⑥ 横に3・4列で並べて積むと早く終わりますが、高さは3段くらいにしかなりません。1列で積んでいるチームから、「高くない。」と言われました。「1列に積む」ルールができました。(9/13)
- ⑦ 段ボール箱の数は同じでも、形と大きさの違う箱で競争しました。小さい箱の多いチームが早く積み終わりました。「箱の形と大きさを揃える」ことになりました。(9/15)
- ⑧ 前日、箱が混ざらないようにステージ上と壁際に分けて段ボール箱を置きました。スタートラインから取りに行き、遊戯室中央に運んで積みました。「ステージは段差がある。壁際は近い。」と意見が出て、「2チームとも壁際に箱を用意し、同じように積んで置く」ところから始めました。一度に2・3個重ねて運ぶ作戦を考えましたチームが勝ちました。(9/16)



市之瀬幼稚園の子どもたちは、不公平な状況を解決しようと、思考力を働かせ主体的にルールを考えてきました。この後も、運動会当日までルールは変化していくと思います。

チームごとに作戦を考え、本気になって勝負を争う子どもたちの姿をご期待ください。